

BOSE[®]



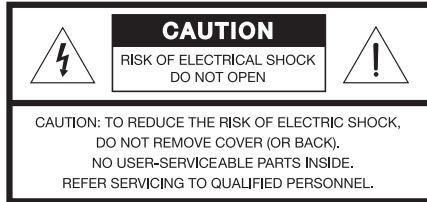
ACOUSTIC WAVE[®] MUSIC SYSTEM II



オーナーズガイド

このオーナーズガイドは必ずお読みください

オーナーズガイドの指示に注意し、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分に活用いただくために役立ちます。また、必要な時にすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

- ▲ 警告：**火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- ▲ 警告：**水漏れやしぶきがかかるような場所で、製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上に置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- ▲ 注意：**感電の危険を避けるため、製品を分解しないでください。サービスが必要な際には、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。



-  正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。
-  正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを、お客様に注意喚起するものです。

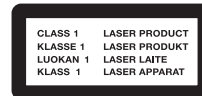
Class B emissions

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations (Canada only).

- ▲ 注意：**極性プラグを使用する場合、感電を避けるため、電源コードをコンセントにつなぐ際には、プラグの幅が広い方の刃をコンセントの幅が広い方のスロットに差し込んでください。プラグは根元まで完全に差し込んでください。
- ▲ 注意：**本書で指定されている以外の方法で製品を操作したり、設定または調整を行うと、内部の部品から危険なレーザーが放出される恐れがあります。CDプレーヤーの調整または修理は、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。

クラス1レーザー製品

このCDプレーヤーは、EN 60825-1:1994+A1+A2、IEC 60825-1:1993+A1+A2に基づき、クラス1レーザー製品に分類されています。



- ▲ 警告：**リモコンの電池は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。リモコンの電池を誤って取り扱おうと、火災を起こしたり、化学物質で皮膚を侵されたりする危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり、100度以上の熱を与えたりしないようにしてください。使用済みの電池は速やかに処分してください。交換する場合は、正しい種類と型番の電池を使用してください。
- ▲ 警告：**電池を誤って交換した場合、破裂の危険性があります。3Vリチウムボタン電池のCR2032またはDL2032に交換してください。



使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

- ▲ 警告：**火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

注記：万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

CE This product conforms to all applicable EU Directive requirements. The complete Declaration of Conformity can be found at www.Bose.com/compliance.

- ▲ 注意：**専用充電式バッテリーパック以外のDC電源を使用すると、システムが損傷する恐れがあります。
- ▲ 注意：**Acoustic Wave® music system IIを車内や船上などの移動環境で使用する場合は、システムの転倒や落下などに十分ご注意ください。

©2012 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。本書に記載されている全ての商標はBose Corporationが所有するものです。Acoustic Wave® music system IIのデザインは、米国および他の国々で登録されたBose Corporationの登録商標です。

MPEG Layer-3オーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスされています。

Acoustic Wave® Music System IIのセットアップ	4
付属品の確認	4
設置場所の選択	4
電源の接続	5
Acoustic Wave® Music System IIの操作	6
はじめに	6
便利な機能	6
リモコンによる操作	7
操作パネルによる操作	8
ディスプレイの表示	9
システムの電源をオン/オフする	9
音量を調節する	9
DC電源で使用する	9
CDの再生	10
音楽CDの再生	10
MP3 CDの再生	11
CDの再生モードを変更する	12
CDの再生モード	12
MP3 CDの再生モード	12
MP3 CDについて	13
FM/AMラジオを聴く	14
FM/AMラジオの選択	14
ラジオの放送局を選ぶ	14
ラジオ放送局のプリセット登録	15
トークラジオモード	15
外部機器の接続	16
リアパネルの入力/出力端子	16
外部FMアンテナの接続	16
ヘッドホンの使用	17
外部スピーカーの接続	17
録音機器の接続	18
AUX IN端子の使用	18
Acoustic Wave® music system IIをLifestyle® systemに接続する	19
Acoustic Wave® Music System IIの設定	20
工場出荷時の設定	20
システム設定の変更	20
Acoustic Wave® Music System IIのお手入れ方法	22
お手入れについて	22
リモコンの電池を交換する	22
故障かな?と思ったら	23
ユーザーサポートセンターへのお問い合わせについて	24
お問い合わせ先	24
保証	24
仕様	24

付属品の確認

Acoustic Wave® music systemを箱から取り出します。箱と梱包材は、後日使用する場合があります。そのため処分せずに保管しておくことをおすすめします。Acoustic Wave® music system IIを輸送する際は、それらの箱と梱包材をご使用ください。

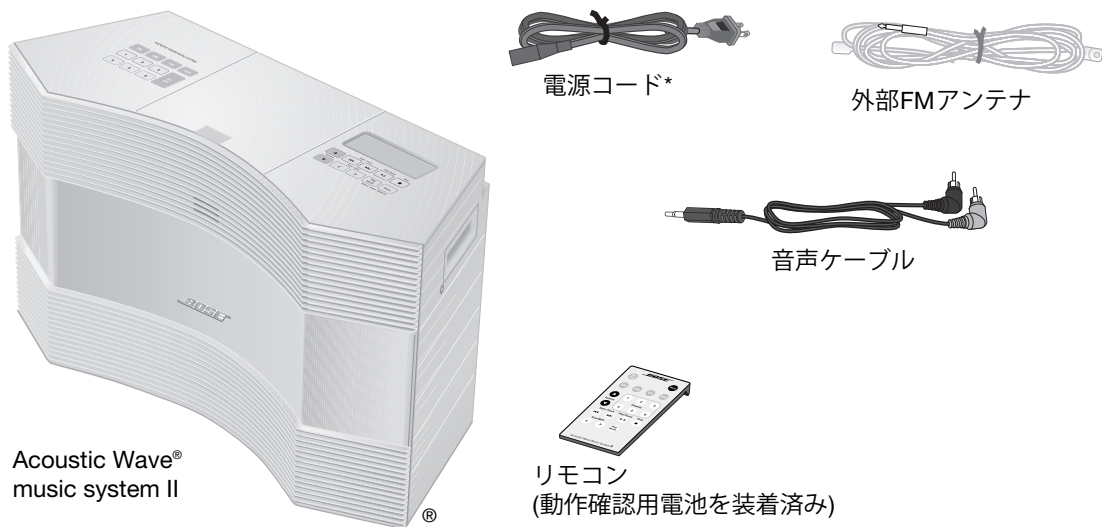
万一、開梱時に付属品の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はお止めください。

図1の付属品が全て同梱されていることを、ご確認ください。

警告：のどに詰まらせる危険性があるので、ビニール袋はお子様の手が届かないところに保管してください。

図1

付属品の確認



*付属の電源コードは購入された国によって異なります。

設置場所の選択

他の高品位オーディオシステムと同様に、Acoustic Wave® music system IIの音質は設置場所に大きな影響を受けます。以下のガイドラインを参考にして、いくつかの設置場所をお試しください。

- このシステムは、棚、カウンター、机、テーブルの上など、床から75~120 cmの高さに設置した場合に最適な音質が得られるように設計されています。
- できるだけ、壁の中央に近い位置で、壁から15 cm以内の場所に設置してください。
- 低音域の力強さを増すには、システムを部屋の隅に設置してください。部屋の隅から離すと、低音域の聞こえ方は弱まります。

注意：システムは安定した水平な面に設置してください。

製品情報の控え

控えとして、Acoustic Wave® music system IIのシリアル番号とモデル番号を下の欄にご記入ください。シリアル番号とモデル番号は、製品の背面に記載されています。

シリアル番号 _____

モデル番号 _____

購入日 _____

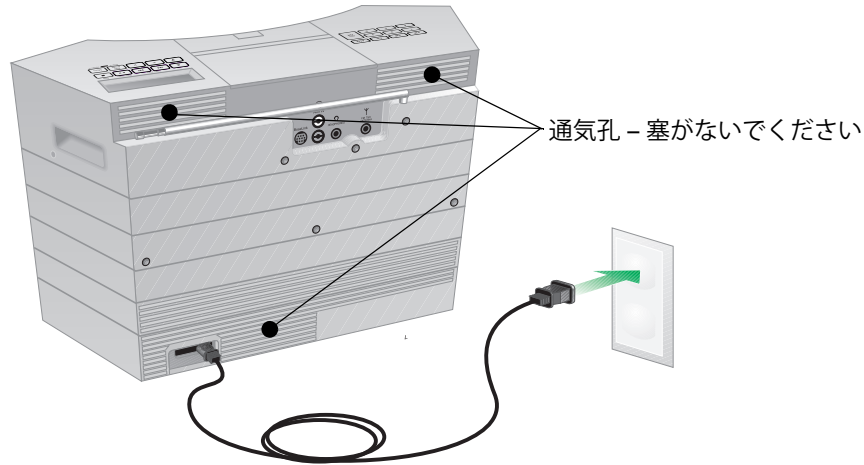
このガイドとともに、ご購入時の領収書と保証書を保管することをおすすめいたします。

電源の接続

1. Acoustic Wave® music system II背面のACコネクタに、電源コードを差し込みます(図2)。
2. 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。
しばらくすると、ディスプレイに「STANDBY」と表示されます。

図2

電源コードの接続



▲ 注意：通気孔は内部の電子回路を冷却するためのものですので、塞がないでください。通気孔を塞ぐと、過熱によりシステムが損傷する恐れがあります。

注記：Acoustic Wave® music system IIはDC 12V電源で使用することもできます。9ページの「DC電源で使用する」をご覧ください。

注記：全ての電子機器に、安全規格認定を受けたサージプロテクターをお使いになることをおすすめいたします。電源電圧の変動や急激な上昇があると、電子機器が破損する恐れがあります。サージプロテクターを使用することにより、電源電圧の急激な上昇で発生する機器障害の多くを防ぐことができます。サージプロテクターは、家電量販店などでお求めになれます。

はじめに

この度はBose® Acoustic Wave® music system IIをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このシンプルな一体型システムから再生される深く豊かな高音質は、大型で複雑なオーディオシステムにも劣らない感動を皆さまにご提供いたします。

本機には、ボーズ社の20年以上にわたる研究成果が結実した独自技術、「ウェーブガイド・スピーカー・テクノロジー」が搭載されています。これは、本体に内蔵された共鳴管(ウェーブガイド)によって小型スピーカーの空気振動を大きな音響エネルギーに変換し、広がりのある重低音を再現する技術です。どんなインテリアにも調和するコンパクトなデザインを損なわないよう、ウェーブガイドは複雑に折りたたまれ、本体に収められています。Acoustic Wave® music system IIに内蔵されているウェーブガイドの長さは合計203 cmにも及び、このサイズで大型スピーカーを凌ぐ重低音を再現します。



便利な機能

室内や屋外でお好きな場所に設置できるコンパクト設計

Acoustic Wave® music system IIには、持ち運びに便利なハンドル(本体左右上側にある窪み)が装備されています。システムを屋外で使用する際には、以下のような別売アクセサリーをご利用ください。

- キャリングケース: 持ち運びの際にシステムを保護するだけでなく、収納したまま音楽をお楽しみいただけます。
- 専用充電式バッテリー: AC電源のない場所でも、システムをお使いいただけます。

アクセサリーは、Bose®特約店、弊社webサイト(www.bose.co.jp)、あるいはお電話でお求めいただけます。お問い合わせ先につきましては、日本語オーナーズガイドの最終ページをご参照ください。

ラジオのトーク番組専用リスニングモード

一部のラジオ番組では、普及型のラジオ機器に適した音質に調整したり、低音を強調したりしている場合があります。Acoustic Wave® music system IIのTALK RADIOモードをオンにすると、番組の音声は聴き取り易くなるように、音質が自動的に調整されます。詳しくは、15ページの「トークラジオモード」をご覧ください。

音楽をヘッドホンで楽しむためのヘッドホン端子を搭載

ヘッドホンをお使いになる場合は、リアパネルのHEADPHONES出力端子に接続してください。音量はシステム上部の操作パネルで調節できます。17ページの「ヘッドホンの使用」をご覧ください。

外部スピーカーの接続が可能

HEADPHONES出力端子にアンプ内蔵スピーカーを接続して、室内の別の場所で音楽をお楽しみいただくことができます。セットアップ方法については、17ページの「外部スピーカーの接続」をご覧ください。

録音機器の接続が可能

リアパネルのHEADPHONES出力端子に録音機器を接続して、お好きな音楽やラジオ番組を録音できます。録音機器の接続方法については、18ページの「録音機器の接続」をご覧ください。

MP3 CDの再生が可能

Acoustic Wave® music system IIは、CD-RやCD-RWに保存されたMP3ファイルを再生できます。詳しくは、11ページの「MP3 CDの再生」をご覧ください。

リモコンによる操作

Acoustic Wave® music system IIの全ての機能は、リモコンを使って簡単に操作できます。リモコンをシステムに向け、ボタンを押してください。リモコンの到達距離は、およそ6mです。

注記:

- ボタンを長押しする場合は、1秒以上押し続けてください。
- [FM]、[AM]、[CD]、または[AUX] ボタンを押すと、そのソースを選択した状態でシステムの電源がオンになります。

図3

リモコンのボタン

On/Offボタン

システムの電源をオン/オフします(9 ページ)。

FM/AM/CD/AUXボタン

FM/AMラジオ、CD、またはAUXソースを選択します。システムの電源がオフの場合は、そのソースを選択した状態でシステムの電源がオンになります(9～12 ページおよび18～19 ページ)。

Volume (音量)ボタン

音量を上下に調節します(9 ページ)。

Seek / Track (シーク/トラック)ボタン

FM/AMラジオの場合

- 1回押すと、ラジオの周波数を前後にスキャンし、受信可能な隣の放送局を自動的に選局します(14 ページ)。
- 長押しすると、押している間ラジオの周波数を前後にすばやくスキャンし、離れた時点で受信可能な放送局を自動的に選局します(14 ページ)。

CDの場合

- 1回押すと、CDの再生トラックを前後に1つずつ移動します(10 ページ)。
- 長押しすると、CDの再生トラックを前後にすばやく移動します(10 ページ)。



Mute (ミュート)ボタン

一時的に消音します。もう一度押すと音量が元に戻ります(9 ページ)。

Presets (プリセット)ボタン

- 1回押すと、登録した放送局が呼び出されます(15 ページ)。
- 長押しすると、そのボタンにラジオの放送局を登録できます(15 ページ)。

Play / Pause (再生/一時停止)ボタン

CDを再生します。再生中の場合はCDを一時停止します(10 ページ)。

Stop (停止)ボタン

再生中のCDを停止します(10 ページ)。

Play Mode (プレイモード)ボタン

- CDの再生モード(シャッフル/リピート)を選択します(12 ページ)。
- AM/FMラジオを聴いているとき、トークラジオモードのオン/オフを切り替えます(15 ページ)。

Tune / MP3 (選局/MP3)ボタン

FM/AMラジオの場合

- 1回押すと、FM/AMラジオの周波数を前後に1ステップずつ移動します(14 ページ)。
- 長押しすると、ラジオの周波数を前後にすばやく移動します(14 ページ)。

CDの場合

- 1回押すと、MP3 CDのフォルダを移動します(11 ページ)。
- 長押しすると、再生中のCDのトラックを早送り/巻き戻しサーチします(10 ページ)。

操作パネルによる操作

操作パネルにあるボタンはリモコンとほぼ同じですが、操作パネルには[Menu]ボタンがあり、[Mute]ボタンはありません。

図4

操作パネルのボタン

Presets (プリセット)ボタン

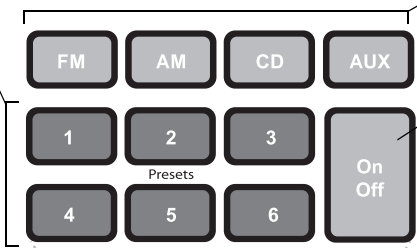
- 1回押すと、登録した放送局が呼び出されます(15 ページ)。
- 長押しすると、そのボタンにラジオの放送局を登録できます(15 ページ)。

FM/AM/CD/AUXボタン

FM/AMラジオ、CD、またはAUXソースを選択します。システムの電源がオフの場合は、そのソースを選択した状態でシステムの電源がオンになります(9~12 ページおよび18~19 ページ)。

On/Offボタン

システムの電源をオン/オフします(9 ページ)。



Seek / Track (シーク/トラック)ボタン

FM/AMラジオの場合

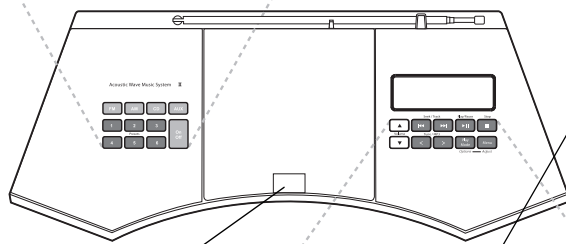
- 1回押すと、ラジオの周波数を前後にスキャンし、受信可能な隣の放送局を自動的に選局します(14 ページ)。
- 長押しすると、押している間ラジオの周波数を前後にすばやくスキャンし、離れた時点で受信可能な放送局を自動的に選局します(14 ページ)。

CDの場合

- 1回押すと、CDの再生トラックを前後に1つずつ移動します(10 ページ)。
- 長押しすると、CDの再生トラックを前後にすばやく移動します(10 ページ)。

ディスクカバー

押してすぐに離すと開きます(10 ページ)。



停止

再生中のCDを停止します(10 ページ)。

Play / Pause (再生/一時停止)ボタン

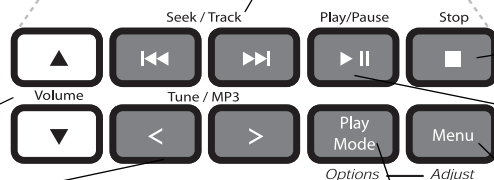
CDを再生します。再生中の場合はCDを一時停止します(10 ページ)。

Menu (メニュー)ボタン

システムメニューを操作します(操作パネルのみ)(20 ページ)。

Volume (音量)ボタン

音量を上下に調節します(9 ページ)。



Tune / MP3 (選局/MP3)ボタン

FM/AMラジオの場合

- 1回押すと、FM/AMラジオの周波数を前後に1ステップずつ移動します(14 ページ)。
- 長押しすると、ラジオの周波数を前後にすばやく移動します(14 ページ)。

CDの場合

- 1回押すと、MP3 CDのフォルダを移動します(11 ページ)。
- 長押しすると、再生中のCDのトラックを早送り/巻き戻しサーチします(10 ページ)。

Play Mode (プレイモード)ボタン

- CDの再生モード(シャッフル/リピート)を選択します(12 ページ)。
- AM/FMラジオを聴いているとき、トークラジオモードのオン/オフを切り替えます(15 ページ)。

ディスプレイの表示

図5は、ディスプレイに表示される情報の例を示したものです。

図5

CDソースにおける情報表示の例

選択中のソース: FM、AM、CD、またはAUX

ソース情報またはシステム設定の選択項目

ソースに関するその他の情報 (FM/AM ラジオのプリセット番号やCD再生経過時間など)



ソースの状態を示す情報 (CD再生モード、音量、ミュート表示など)

システム電源のオン／オフ



[On/Off] ボタンを1回押すと、電源のオン／オフが切り替わります。システムをオンにすると、最後に再生していたソースが有効になります。

システムをオフにすると、ディスプレイに「STANDBY」と表示されます。

FM

AM

CD

AUX

[FM]、[AM]、[CD]、または[AUX] ボタンを押すと、そのソースを選択した状態でシステムの電源がオンになります。[AUX] ボタンを押しても、テレビなどの外部機器の電源はオンになりません。先に外部機器の電源をオンにしてください。

注記: CDまたはAUXソースを選択している時、音楽の再生やシステムの操作をせずに30分が経過すると、システムの電源は自動的にオフ(スタンバイ)になります。この時、ディスプレイのバックライトが消灯し、「STANDBY」と表示されます。

注記: CDソースのみ: CDを連続再生している時、システムの操作をせずに24時間が経過すると、システムの電源は自動的にオフになります。

音量の調節



Volume



音量を調節するには、[Volume] ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押し続けます。「VOLUME - 00」(最小レベル)から「99」(最大レベル)までの音量がディスプレイに表示されます。システムの電源をオンにする前に、予め音量を20~70の間で調節しておくことができます。

リモコンの[Mute] ボタンを押すと、システムの音が一時的に消音されます。解除するには[Mute] ボタンをもう一度押すか、[Volume] ▲ ボタンを押します。ミュート中に[Volume] ▼ ボタンを押して、音量を下げておくこともできます。

注記: ミュートしたままの状態が30分が経過すると、システムの電源は自動的にオフ(スタンバイ)になります。

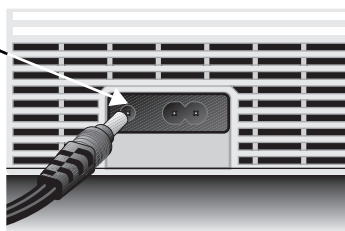
DC電源の使用

専用充電式バッテリー(別売)を使用し、Acoustic Wave® music system IIをDC12 V電源で使用することができます。DC12 V電源入力端子は、リアパネルのAC電源入力端子の左にあります(図6)。

図6

リアパネルのDC12 V電源入力端子

DC 12V
電源入力端子



DC電源で動作している間は、ディスプレイのバックライトがオフになります。操作パネルのボタンを押すと、バックライトは数秒間オンになります。

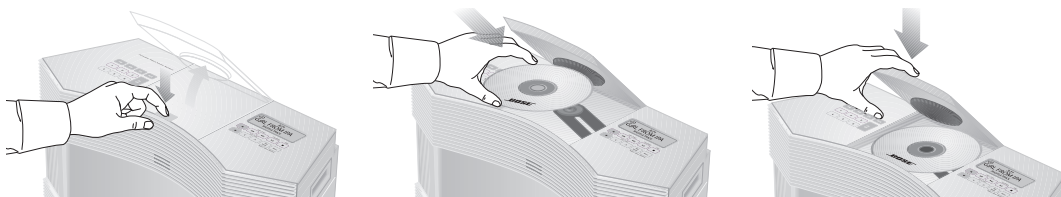
音楽CDの再生



1. ディスクカバーの手前部分を押してから離すと、カバーが開きます(図7)。
2. レーベル面を上にしてCDをプレーヤーにセットします。
3. カバーを上から押して閉じます。
4. CDソースが選択されていない場合は、[CD]ボタンを押します。システムの電源がオンになってCDの再生が始まります。CDソース情報がディスプレイに表示されます(図8)。

図7

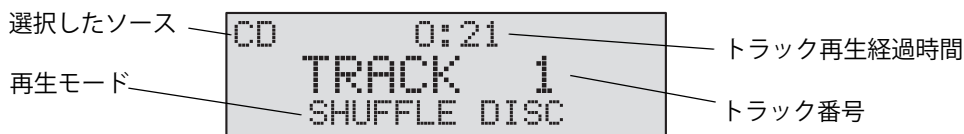
CDのセット



注記：[CD] ボタンを押した時に、ディスプレイに「-NO DISC-」と表示される場合は、プレーヤーにCDがセットされていません。

図8

CD再生時のディスプレイの表示例



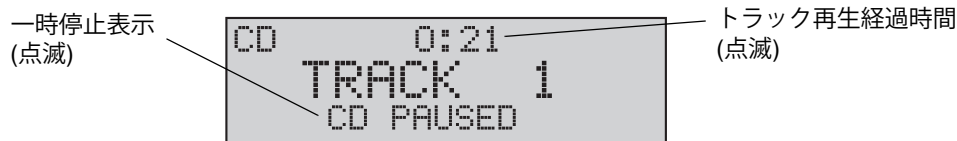
トラックの再生中:



- **[Play/Pause]** ボタンを押すと、CDの再生が一時停止します。再生経過時間と「CD PAUSED」の表示が、ディスプレイで点滅します(図9)。**[Play/Pause]** をもう一度押すと、再生を再開します。
- **[Seek/Track] ◀◀** ボタンを1回押すと、再生中のトラックの先頭に移動します。3秒以内にボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭に移動します。
- **[Seek/Track] ▶▶** ボタンを1回押すと、次のトラックへ移動します。
- **[Tune/MP3 <]** ボタンまたは **[Tune/MP3 >]** ボタンを長押しすると、再生中のトラックを早送り/巻き戻しサーチします。
- **[Stop]** ボタンを押すとCDを停止します。

図9

CD再生時のディスプレイの表示例 - CDの一時停止



注記：CDはプレーヤーの中で高速回転しています。CDを取り出す前に、必ず[Stop]ボタンを押してCDを停止してください。

MP3 CDの再生

Acoustic Wave® music system IIは、CD-RやCD-RWに保存されたMP3ファイルを再生できます。MP3 CDに関しましては、13ページの「MP3 CDについて」をご覧ください。

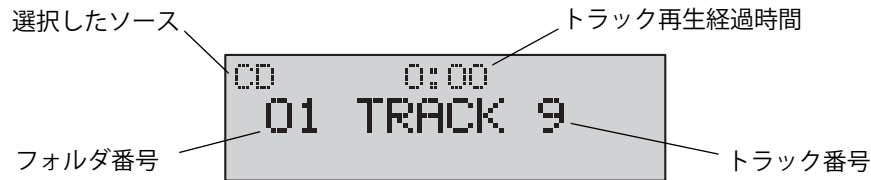
MP3 CDを再生するには:

ディスクカバーを開け、MP3 CDをセットします。別のソースを再生している場合は、[CD]ボタンを押します。MP3 CDが自動的に再生されます。

まず、再生経過時間がディスプレイ上部に表示され(図10)、フォルダ番号とトラック番号が中央に表示されます。次に、曲名とアーティスト名が交互に2回表示され、最後に再び曲名が表示されます(日本語非対応)(図11)。トラックの再生中は、再生経過時間と曲名の表示が継続されます。[CD]ボタンを押すと、フォルダ番号とトラック番号、曲名、アーティスト名が順に表示されます。

図10

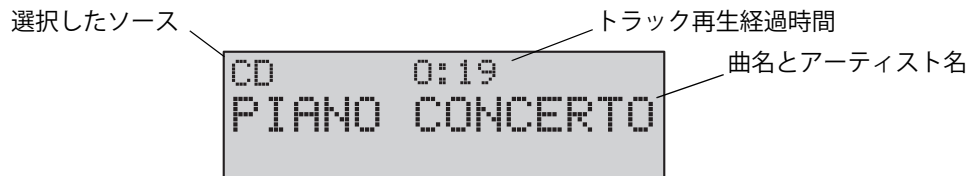
MP3 CD再生開始時のディスプレイの表示例



注記: ルートレベル(最上位のフォルダ)のフォルダ番号は「00」と表示されます。

図11

MP3 CD再生中のディスプレイの表示例



MP3 CDトラックの再生中:



- [Play/Pause] ボタンを押すと、MP3 CDの再生が一時停止します。再生経過時間と「CD PAUSED」の表示が、ディスプレイで点滅します。[Play/Pause] をもう一度押すと、再生を再開します。



- [Seek/Track] ◀◀ ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭に移動します。3秒以内にボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭に移動します。
- [Seek/Track] ▶▶ ボタンを押すと、次のトラックへ移動します。



- フォルダを使用している場合、[Tune/MP3 ◀] ボタンを押すと前のフォルダに移動し、[Tune/MP3 ▶] ボタンを押すと次のフォルダに移動します。
- [Tune/MP3 ◀] ボタンまたは [Tune/MP3 ▶] ボタンを長押しすると、再生中のトラックを早送り/巻き戻しサーチします。



- [Stop] ボタンを押すとMP3 CDを停止します。

CD再生モードの変更

CDの再生中に、再生モードを変更することができます。



[Play Mode]ボタンを繰り返し押し、再生モードを選択します。

CDの再生モード

CDの再生中は、次の再生モードを選択できます。

モード表示	説明
NORMAL PLAY	全てのトラックを順番に1回だけ再生します。
SHUFFLE DISC	全てのトラックをシャッフルして1回だけ再生します。
SHUFFLE REPEAT	全てのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。
REPEAT DISC	ディスク内の全てのトラックを順番に繰り返し再生します。
REPEAT TRACK	再生中のトラックを繰り返し再生します。

MP3 CDの再生モード

MP3 CDの再生中は、次の再生モードを選択できます。

モード表示	説明
NORMAL PLAY	全てのトラックを順番に1回だけ再生します。
SHUFFLE DISC	全てのトラックをシャッフルして1回だけ再生します。
SHUFFLE FOLDER	選択したフォルダ内の全てのトラックをシャッフルして1回だけ再生します。
SHUFFLE RPT FLDR	フォルダ内の全てのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。
SHUFFLE REPEAT	全てのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。
REPEAT DISC	ディスク内の全てのトラックを順番に繰り返し再生します。
REPEAT FOLDER	フォルダ内の全てのトラックを順番に繰り返し再生します。
REPEAT TRACK	再生中のトラックを繰り返し再生します。

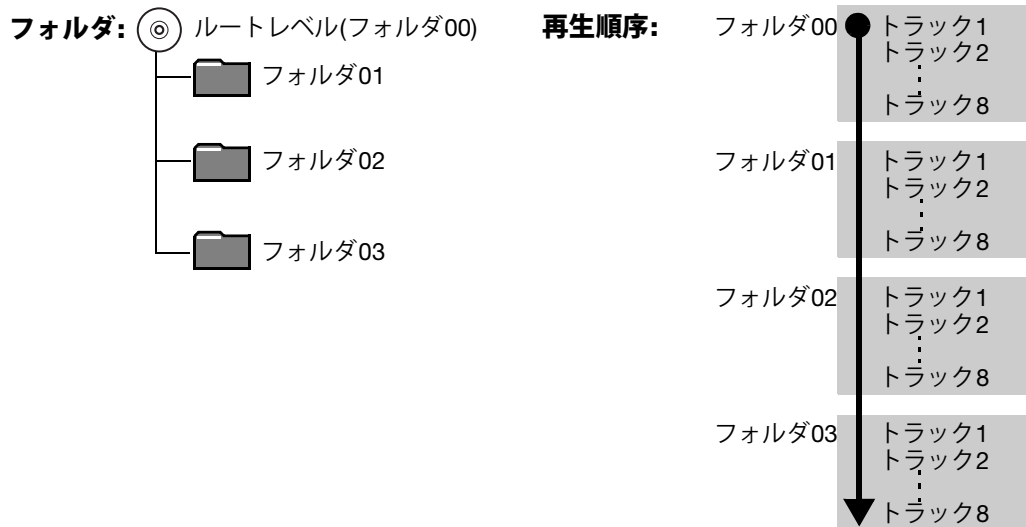
MP3 CDについて

MP3は、音質に著しい影響を与えずに音楽ファイルのサイズを小さくすることができる圧縮技術です。MP3形式を使用すると、通常のオーディオCDより多くの曲を1枚のCDに保存できます。一般的に、1枚のMP3 CDには標準的なオーディオCDの約10倍の曲数を保存できます。また曲は、予めコンピューターで作成したフォルダに分類してから、CDに保存することができます。

MP3形式の曲を再生する順序は、CDに保存されているMP3ファイルのフォルダ構成によって決まります。例えば、曲が4つのフォルダに分かれて保存されている場合、図12のような順序で再生されます。

図12

MP3 CD ファイルのフォルダ構成の例



MP3 CDの音質は、圧縮時のビットレート、サンプリングレート、使用したエンコーダーの種類によって変わります。Acoustic Wave® music system IIは、圧縮時のビットレートが64kbps以上、またサンプリングレートが32kHz以上のMP3 CDに対応しています。128kbps以上のビットレート、かつ44.1kHz以上のサンプリングレートで記録されたディスクを使用することをおすすめします。

注記: CD-RやCD-RWに記録された音楽ファイルの音質は、ディスクに保存したときの記録方法と使用したソフトウェアによって変わります。不適切な記録状態のMP3 CDを再生すると、システムが正常に動作しない場合があります。

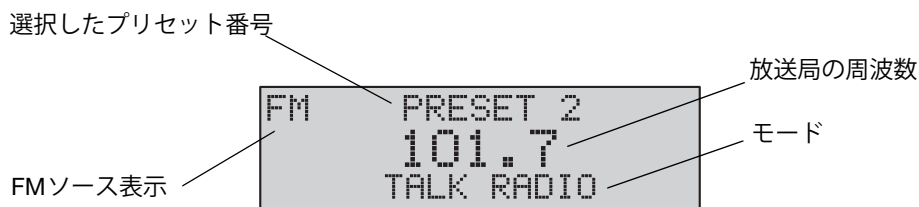
FM/AMラジオの選択



[FM] ボタンまたは [AM] ボタンを押して、FM/AMラジオを選択します。システムの電源がオフの場合は、ボタンを押すとオンになり、最後に選局していた放送局を受信します。

図13

FMラジオ再生時のディスプレイの表示例



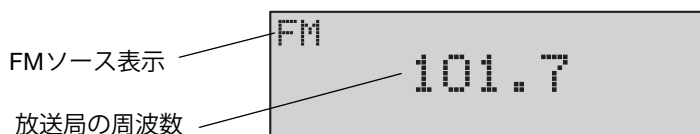
ラジオの選局



[FM] ボタンまたは [AM] ボタンを押して、FMあるいはAMのチューナーを選択します。ラジオ放送局を選ぶと、その局の周波数がディスプレイの中央に表示されます(図14)。

図14

選局時のディスプレイの表示例



[Seek/Track] ◀▶ ボタンを押すと、低い周波数側で十分受信できる電波の強さを持つ放送局を自動的に探します。[Seek/Track] ▶▶ ボタンを押すと、高い周波数側で十分受信できる電波の強さを持つ放送局を自動的に探します。



低い周波数側の放送局を手動で選局するには、[Tune/MP3 ◀] ボタンを押します。高い周波数側の放送局を手動で選局するには、[Tune/MP3 ▶] ボタンを押します。

[Tune/MP3 ◀] ボタンを長押しすると、低い周波数にすばやく移動します。[Tune/MP3 ▶] ボタンを長押しすると、高い周波数にすばやく移動します。

注記： AMラジオの受信状態がよくない場合は、本体の向きを左右に回すと改善されることがあります。FMラジオの受信状態がよくない場合は、背面のFMロッドアンテナをいっぱいまで伸ばしてください。それでもFMラジオの受信状態が改善しない場合は、外部FMアンテナの取り付けをご検討ください。16ページの「外部FMアンテナの接続」をご覧ください。

ラジオ放送局のプリセット登録



FMラジオとAMラジオの放送局をそれぞれ6つまで登録し、**[Presets]**ボタンで直ちに呼び出すことができます。

1. プリセットに登録する放送局を選局します。
2. 6つの**[Presets]**ボタンのいずれかを、ピープ音が2回聞こえ、プリセット番号と放送局の周波数がディスプレイに表示されるまで長押しします。これで登録は完了です。
3. **[Presets]** ボタンのいずれかを押しすと、そこに登録されたFM/AMラジオの放送局が直ちに選局されます。

注記：同じボタンに別の放送局を登録すると、以前登録した放送局に上書きされます。

注記：停電時も、プリセットに登録した放送局はバックアップメモリーに保存されています。

トークラジオモード

一部のラジオ放送局では、トーク番組やニュース番組でマイクの設定や音声周波数の調整により、低音が強調されている場合があります。これは、一般的なラジオ機器でアナウンサーなどの声を聴き取りやすくするために行われているものです。高音質のオーディオ製品では、この番組を再生すると音が不自然に聞えたり、低音が誇張されたりする場合があります。TALK RADIOモードをオンにすると、低音が強調された番組の音声を聴き取りやすくするように、Acoustic Wave® music system IIが自動的に音質を調整します。



ラジオを聴いているときに**[Play Mode]**ボタンを押すと、TALK RADIOモードがオンになります。モードをオンにすると、周波数の下に「TALK RADIO」と表示されます(図15)。**[Play Mode]**ボタンをもう一度押しすと、TALK RADIOモードがオフになります。

図15

FMラジオでTALK RADIOモードをオンにした場合のディスプレイの表示例



TALK RADIOモード表示

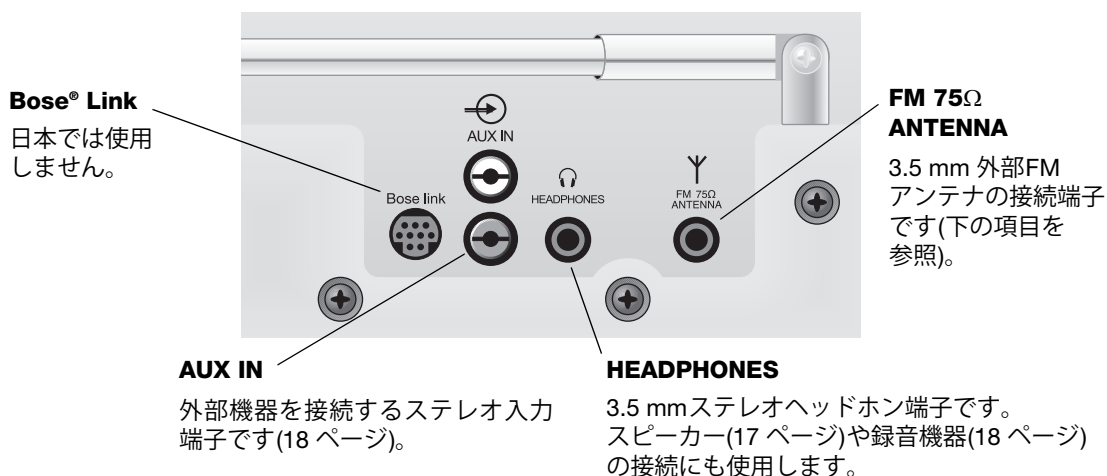
注記：いずれかのソースボタンを押す、別の放送局を受信する、Acoustic Wave® music system IIの電源をオフにするなどの場合、TALK RADIOモードはキャンセルされます。

リアパネルの入力／出力端子

Acoustic Wave® music system IIのリアパネルには、外部機器を接続するための端子があります(図16)。

図16

リアパネルへの接続



外部FMアンテナの接続

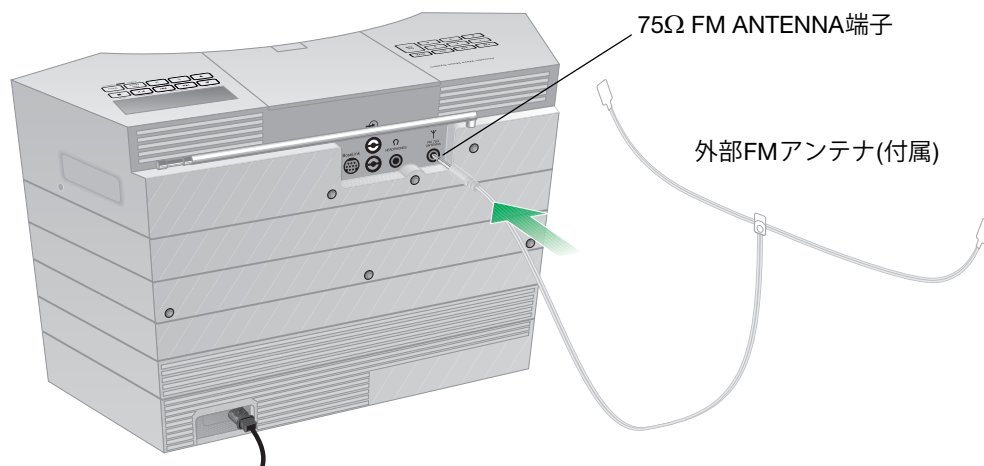
Acoustic Wave® music system IIには、FMロッドアンテナが装備されています。このアンテナの向きを調整してもラジオの受信状態が良くならない場合、付属の外部FMアンテナを使用すると改善することがあります。

外部FMアンテナを接続するには:

1. FMアンテナの3.5 mmプラグを、図17のように**FM 75Ω ANTENNA**端子に接続します。
2. 良好な状態で受信するには、アンテナを本体や外部機器からできるだけ離れた位置まで伸ばし、アンテナ線の両端をぴんと張って水平にしてください。

図17

FMアンテナの接続



ヘッドホンの使用

音楽などを一人で楽しみたい時は、Acoustic Wave® music system IIにヘッドホンを接続します。

▲ 警告： HEADPHONES端子にスピーカーを接続するように設定している場合は、ヘッドホンを接続しないでください。大きな音量で聴力に悪い影響を与えることがあります。ヘッドホンを接続する前に、[HEADPHONES JACK]メニューの選択項目を[HEADPHONES]に設定してください。20 ページの「システム設定の変更」をご覧ください。

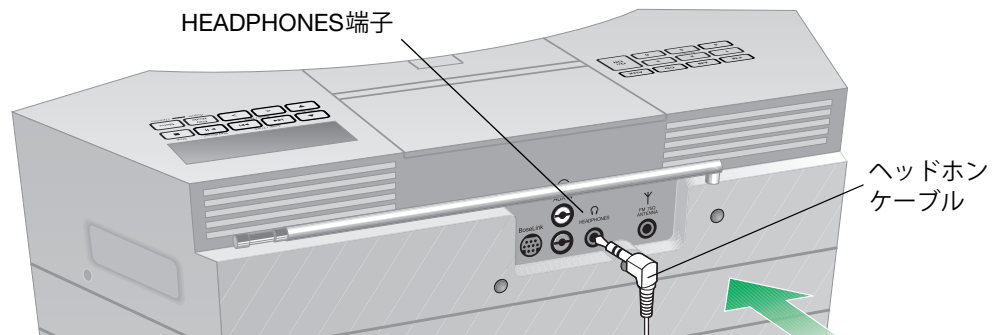
▲ 警告： 大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間に渡るヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。

1. ヘッドホンのケーブルをリアパネルの **HEADPHONES** 端子に接続します (図18)。ヘッドホンを接続すると、スピーカーの音が自動的にミュートされます。
2. 音量を確認します。音量を下げてからヘッドホンを装着することをおすすめします。
3. **[Volume]** ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、ヘッドホンの音量を調節します。



図18

ヘッドホンの接続



外部スピーカーの接続

HEADPHONES 端子にアンプ内蔵スピーカーを接続して、室内の別の場所で音楽をお楽しみいただくことができます。AC電源またはバッテリーで動作し、音量調節が可能なスピーカーシステムを使用してください。

1. セットアップメニューで、[HEADPHONES JACK]の選択項目を[HEADPHONES]から[LINER OUTPUT]に変更します。手順については、20 ページの「システム設定の変更」をご覧ください。
2. 付属のステレオ音声ケーブルの3.5 mmプラグを、Acoustic Wave® music system IIのリアパネルの HEADPHONES端子に接続します。
3. ケーブルのピンプラグをアンプ内蔵スピーカーシステムの入力端子に接続します。
4. Acoustic Wave® music system IIを操作する際は、次の手順に従います。
 - リモコンでAcoustic Wave® music system IIの音量を調節します。
 - 外部スピーカーシステム内蔵の音量調節機能を使用して、外部スピーカーの音量を調節します。

3.5 mmステレオ音声プラグ



録音機器の接続

HEADPHONES端子に録音機器を接続して、ラジオの放送などを録音することができます。

1. セットアップメニューで、[HEADPHONES JACK]の選択項目を[HEADPHONES]から[LINE OUTPUT]に変更します。手順については、20 ページの「システム設定の変更」をご覧ください。
2. 付属のステレオ音声ケーブルの3.5 mm プラグを、Acoustic Wave® music system IIのリアパネルのHEADPHONES端子に接続します。
3. ケーブルのピンプラグを、録音機器のライン入力端子に接続します。

3.5 mmステレオ音声プラグ



AUX IN端子の使用

Acoustic Wave® music system IIの**AUX IN**端子に、テレビ、ビデオデッキ、コンピューター、ゲーム機、MP3プレーヤーなどを接続すれば、より豊かで迫力ある高音質をお楽しみいただくことができます。

外部機器の音声出力をAcoustic Wave® music system IIに接続する場合は、外部機器に応じて以下のいずれかのケーブル使用します。

- ピンプラグ(x2) - 3.5 mm
ステレオ音声ケーブル(付属)



- ピンプラグ(x2) - ピンプラグ(x2)
ステレオ音声ケーブル(別売)



MP3プレーヤーなどの機器をシステムに接続するには:

1. ステレオ音声ケーブルのピンプラグを、Acoustic Wave® music system IIのリアパネルの**AUX IN**端子に接続します(図19)。
2. ケーブルの反対側を外部機器の音声出力端子に接続します。
3. 外部機器の電源をオンにしてから、Acoustic Wave® music system IIの電源をオンにします。
4. **[AUX]**ボタンを押します。

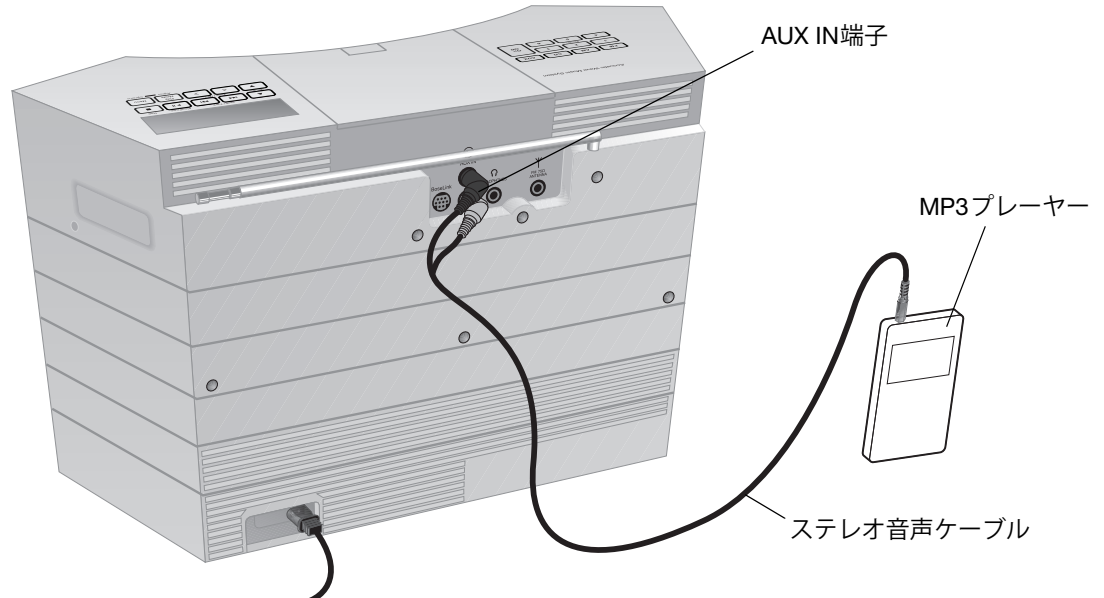
AUX



5. 音量を調節するには、[Volume] ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押し続けます。「VOLUME - 00」(最小レベル)から「99」(最大レベル)までの音量がディスプレイに表示されます。Acoustic Wave® music system IIの音量を上げてても十分な大きさに達しない場合は、接続した外部機器側の音量を上げてください。

図19

MP3 プレーヤーと AUX IN
端子の接続



工場出荷時の設定

Acoustic Wave® music system IIの機能は、多くのお客様にそのままお使いいただける状態に初期設定されています。設定を変更する場合は、以下の手順に従ってセットアップメニューを使用します。

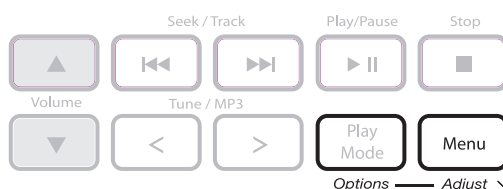
システム設定の変更

システムの設定を変更するには、以下の手順に従います。図20と21ページの「セットアップメニュー」の表をご覧ください。

1. **[Menu]**ボタンを、「-SETUP MENU-」が表示されるまで長押しします。
2. **[Options]**ボタンを何回か押して、変更したいメニューオプションを表示させます。
3. **[Adjust]**ボタンを押して、選択項目を変更します。
4. 必要に応じて手順2と3を繰り返し、他のオプションを変更します。
5. セットアップメニューを終了するには、設定の変更で使用した2つのボタン(**[Menu (Adjust)]**および**[Play Mode (Options)]**)以外のボタンを押してください。いずれのボタンも押さずに10秒間が経過すると、セットアップメニューは自動的に終了します。

図20

システムの設定を変更するための操作

**[Play Mode - Options] ボタン**



セットアップメニューのオプションを選択します。

[Menu - Adjust] ボタン

- 長押しすると、セットアップメニューに切り替わります。
- 1回押すと、選択した選択項目が変更されます。



セットアップメニュー

 Play Mode <i>Options</i> メニューオプション	ディスプレイ表示	 Menu <i>Adjust</i> 選択項目*	説明
ヘッドホン端子	HEADPHONES JACK:	HEADPHONES、LINE OUTPUT	HEADPHONES 端子は、初期状態ではヘッドホンを使用するように設定されています。[HEADPHONES JACK] オプションを[LINE OUTPUT]に変更すると、アンプ内蔵スピーカーや録音機器を端子に接続できます。 <ul style="list-style-type: none"> • HEADPHONES: HEADPHONES端子からの音量を、リモコンで調節できます。ヘッドホン接続時、本体のスピーカーはミュートされます。 • LINE OUTPUT: HEADPHONES端子からの音量は、固定となります。ケーブル接続時、本体のスピーカーはミュートされません。 詳細については、17 ページの「外部スピーカーの接続」と「ヘッドホンの使用」、および18 ページの「録音機器の接続」をご覧ください。
連続再生	CONTINUOUS PLAY:	NO 、FM、AM、AUX	Acoustic Wave® music system II には、連続再生機能があります。CDの再生が終了した後に、続いて自動的に再生を開始するソースを設定できます。
ルームコード	ROOM SELECTION:	B 、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O	本機能は日本では使用しません。
システムのリセット	RESET ALL:	NO 、YES	システムを工場出荷時の設定に戻します。* <ol style="list-style-type: none"> 1. [RESET ALL:]の設定を[NO]から[YES]に変更します。 2. 「PRESS 2 TO CONFIRM」というメッセージがディスプレイで点滅したら、[Preset 2] ボタンを押します。 3. ディスプレイに「RESET COMPLETE」と表示され、システムの電源が自動的に約2秒間オフになった後、再びオンになります。 注記： リセット操作により、FM/AMラジオのプリセットも初期設定に戻ります。放送局をプリセットに登録していた場合は、システムリセットの完了後、改めて登録し直してください。

太字の項目は、工場出荷時の設定です。

お手入れについて

Acoustic Wave® music system IIの外装は柔らかい布で乾拭きしてください。必要な場合は、毛先が柔らかいブラシ付きのノズルを使用し、掃除機の弱いパワーでフロントパネルを清掃することもできます。液体洗剤、溶剤、化学薬品、アルコール、アンモニア、研磨剤などは使用しないでください。

- ▲ 注意：**本体の開口部に液体が入らないようにしてください。液体をこぼした場合はすぐに電源コードを抜き、ボーズ株式会社サービスセンターにご連絡の上、修理をお受けください。サービスセンターの連絡先については、日本語オーナーズガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。

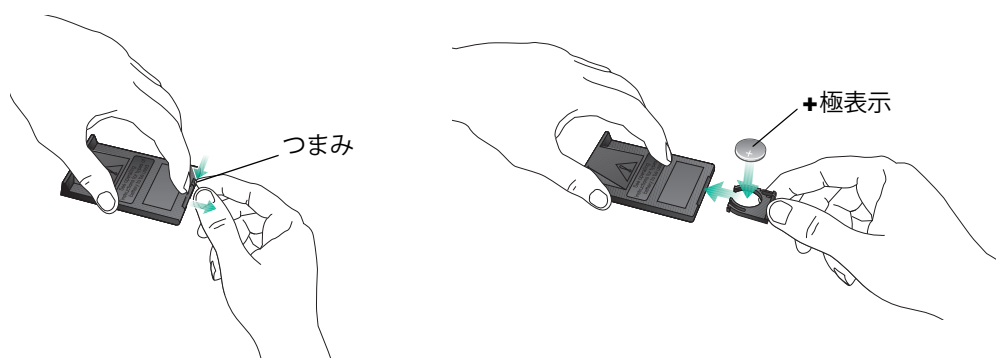
リモコンの電池を交換する

リモコンには予め電池が装着されています。新しい電池に交換する場合は、次の手順に従ってください。

1. ボタン側を下にしてリモコンを平らな場所に置きます。
2. 電池カバーの留め具を図のように指で押さえます。電池カバーをスライドして開きます。
3. ボタン側を下にしたまま、+極の表示を上に向けて新しい電池を装着します。
4. 電池カバーを静かに閉じます。自動的に留め具がかかります。

図21

電池の取り外しと装着



- ▲ 警告：**リモコンの電池は、小さなお子様の手が届かないところに保管してください。リモコンの電池を誤って取り扱うと、火災を起こしたり、化学物質で皮膚を侵されたりする危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり、100度以上の熱を与えたりしないようにしてください。使用済みの電池は速やかに処分してください。交換する場合は、正しい種類と型番の電池を使用してください。

- ▲ 警告：**電池を誤って交換した場合、破裂の危険性があります。3Vリチウムボタン電池のCR2032またはDL2032に交換してください。

故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
本体が機能しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが、本体のコネクターおよび電源コンセントにしっかりと差し込まれているかを確認します。 電源コンセントあるいは専用充電式バッテリーから給電されていることを確認します。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量を上げます。 [Mute]ボタンを押して、ディスプレイ上の「-MUTE-」表示を消します。 CDプレーヤーからディスクを一旦取り出し、セットし直します。 外部機器の接続を確認します。 AUX INに接続されている外部機器を聴く場合は、[AUX]ボタンを押します。外部機器に電源が接続され、オンになっていることを確認します。 ヘッドホンの接続を外します。
FMラジオの受信状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ロッドアンテナを使用している場合は、いっぱいまで伸ばしてください。 付属の外部アンテナをお試しください。手順については、16ページの「外部FMアンテナの接続」をご覧ください。
AMラジオの受信状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 本体の向きを変えながら、内蔵アンテナの受信状態が良くなる位置を探します。 テレビ、冷蔵庫、蛍光灯、ハロゲンランプ、調光器付きスイッチなど、電気ノイズを発生する電気製品から本体を離してください。 受信状態が改善されない場合、AMラジオの電波が弱いことが考えられます。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	<ul style="list-style-type: none"> リモコンを本体に近付けて操作します。 リモコンを本体の方向に向けて、ボタンを押します。 強い室内灯光や太陽光が本体に直射して、リモコン受信の障害になっていないか、またはリモコン先端のレンズにほこりや汚れが付いていないかを確認します。 本体を別の場所に設置して、操作をお試しください。 リモコンに電池が正しく装着されていることをご確認ください。22ページの「リモコンの電池を交換する」をご覧ください。 リモコンの電池を交換します。22ページの「リモコンの電池を交換する」をご覧ください。
ディスプレイに何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> システムの電源がオンになっていることを確認します。 電源コンセントあるいは専用充電式バッテリーから給電されていることを確認します。
ディスプレイのバックライトがすぐに消灯する	<ul style="list-style-type: none"> システムが専用充電式バッテリーで動作している場合、通常バックライトはオフとなります。操作パネルのボタンを押すと、バックライトはしばらくの間オンになります。
CDが再生されない	<ul style="list-style-type: none"> CDソースが選択されていることを確認します。ディスプレイの左上に「CD」と表示されていることをご確認ください。表示されていない場合は、[CD]ボタンを押します。 CDのレーベル面を上にしてセットしたことをご確認ください。 ディスクの表面に汚れがないことを確認し、汚れている場合は表面に傷を付けないようにそっと拭き取ります。 オーディオCDをセットしていることをご確認ください。DVDは再生できません。 別のディスクをお試しください。
ディスプレイに「NO DISC」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ディスクカバーを開き、CDがレーベル面を上にしてセットされていることをご確認ください。
ディスプレイに「DOOR OPEN」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ディスクカバーが閉じていることをご確認ください。
ディスプレイに「NOT PLAYABLE」と点滅して表示される	<ul style="list-style-type: none"> 非対応のCDがセットされています。
ディスプレイに「TRACK [番号] ERROR」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> 別のトラックに移動して[Play]ボタンを押すか、別のCDをお試しください。
CDが音飛びする	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの汚れを拭き取ります。 システムに振動が加わっていないかご確認ください。必要に応じて、別の設置場所をお試しください。

ユーザーサポートセンターへのお問い合わせについて

リモコン紛失時の再購入につきましては、ボーズ株式会社ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。また、トラブル解決のための詳細情報についても、同じくユーザーサポートセンターにお問い合わせください。ユーザーサポートセンターの連絡先については、以下の「お問い合わせ先」をご覧ください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 サービスセンター

お客様専用ナビダイヤル ☎ 0570-080-023

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9

唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 ユーザーサポートセンター

お客様専用ナビダイヤル ☎ 0570-080-021

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

仕様

AC電源定格

100V~ 50/60Hz、60W

外形寸法

27 cm (H) x 45.7 cm (W) x 18.7 cm (D)

質量

6.5 kg

CONTACT INFORMATION

USA Customer Support

Bose Corporation, The Mountain
Framingham, MA 01701-9168
1-800-367-4008

USA Customer Service

Bose Corporation, 1 New York Ave.
Framingham, MA 01701-9168
1-508-766-1900

Canada Customer Support

Bose Ltd., 1-35 East Beaver Creek Rd.
Richmond Hill, Ontario L4B 1B3
1-800-465-2673

European Office

Bose Products B.V., Nijverheidstraat 8
1135 GE Edam, Nederland
TEL 0299-390111 FAX 0299-390114

Australia

Bose Pty Limited,
Unit 3, 2 Holker Street,
Newington NSW, 2127
TEL +61 (0)2 8737 9999 FAX +61 (0)2 8737 9924

Deutschland

Postfach 1468
48504 Nordhorn
TEL 0130-2673555 FAX 05921-724250

France

6, Rue Saint Vincent
78100 Saint Germain en Laye
TEL 01-3061 6363 FAX 01-3061 4105

Japan

Bose K.K.
Sumitomo Fudosan Shibuya Garden Tower 5F
16-17 Nampocho
Shibuya-ku, Tokyo 150-0036, Japan
TEL 0570-080-021 FAX 03-5489-1041
www.Bose.co.jp

Nederland

Bose B.V., Nijverheidstraat 8
1135 GE Edam, Nederland
TEL 0299-390111 FAX 0299-390114

United Kingdom

Freepost EX 151
Exeter EX1 1ZY
TEL 0800 614 293 FAX 0870 240 2013

World Wide Web

www.Bose.com



BOSE[®]
Better sound through research[®]

©2012 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM356315 Rev.01